

# 「振り返りと赦し!!」

～あなたは整理できていますか?～

Ⅱコリント4:6～18

## ■ 自分の価値観

アメリカでこんな事件が起きました。ある青年が高級車を買いました。道路の端に駐車し、扉を開けたところ後ろから来たトラックがぶつかり、扉が飛んでしまいました。買ったばかりの高級車です。青年は怒りました。警官がかけつけた時に、扉どころか手も失っていることを青年に告げました。青年は車の価値に目がとられ、自分の手がなくなっていることにも気が付かなかったのです。この例は極端ですが私達の生活においても考えてみたいと思います。例えばプレゼントをいただいた時、値段のことを考える人は「高かったかな」「安そうだな」と思うかもしれません。単純に「素晴らしい」と思う人もいれば「何か裏があるのか」と勘繰る人もいるかもしれません。人は色々なことを連想しますが、自分が感じていることは相手も感じていると信じています。「普通」とは何でしょうか。根拠がよくわからないけれど、みんながそうであると信じるので人は自分が普通だと信じています。隣の人を見てみてください。普通ですか?時代が違えば…、文化が違えば…、みんなが同じでしょうか。どこに目を向けているか、何を考えて理解するか、その基本とは何でしょうか。価値観がずれていれば問題が起こるのです。「普通はそうでしょ」と人を責めたいことがありませんか。自分が正しいという自己義な価値観。私達はいつも「自分は間違っているかもしれない」と考えなければいけません。

## ■ 過去を振り返る

クリスチャンは過去の罪を赦されたと宣言します。「先のことどもを思い出さな。昔の事どもを考ふるな。見よ。私は新しいことをする。今、もうそれが起こらうとしている。あなたがたはそれを知らないのか。確かに、わたしは荒野に道を、荒地に川をもうける。」(イザヤ 43:18-19)と書かれてあります。けれど、振り返れと神様は言われます。それは悔い改めをする時に一度だけ振り返る必要があるからです。クリスチャンになって神様を知っても、潜んでいる価値観は変わりませんが、クリスチャンになった後も正しいと分かっているのに裏腹な行動をとってしまう。その時に「どうしてこうなのか。」振り返りがないと理解できないのです。「神へのいけにえは、砕かれたたましい。砕かれた、悔いた心。神よ。あなたは、それをさげすまれません。」(詩篇 51:17) ダビデは悔い改めにどの位の時間をかけたのでしょうか。悪いことが起こった時に「神様ごめんください。」と言って終わるだけで本当に何が悪かったかは理解できていません。どこに原因があったのか振り返るのには時間がかかるはずです。「自分が正しい」という思いを捨てて振り返ってみましょう。

## ■ ①目の前の問題に影響されるな

私達は何かあると、誰かに何かを言われると一喜一憂します。皆さんは問題が起こった時にどんなスイッチが入りますか?また、そのスイッチが入りやすいのはどんな影響を受けた時でしょうか?人はそれぞれ弱い部分も、そこにあるスイッチも、その時に取る対応も違います。違う価値観同士の人がいっしょに生きているのですから合わせようとしないうり合うはずがありません。「自分が正しい」と思っている解決はありません。国家間の大きな争い、人間関係の中の小さな争い、大きな争いでも同じことなのです。聖書には解決の方法を、神様を問うて向き合うことと示しています。「二人でも三人でも、私の名において集まる所には、私もその中からです。」(マタイ 18:18)と書かれています。目の前に起きる問題に影響されるとそれができなくなります。自分と同じように相手の言動は感情的に起きています。向き合った方がいいのは分かっているけどプライドがあるので向き合えません。プライドとはヘルメットのようなものです。ヘルメットをかぶっているのだからぶついても痛くはありません。でも「ムカツ」と来ます。正しく向き合えば痛くも痛くないので相手の痛みも分かりますが、プライドを着て向き合えば痛みが分かりません。パウロは言いました。「だれかが弱くて、私が弱くない、ということがあってもいいか。だれかがつまづいていて、私の心が激しく痛まないでおられませんか。もしどうしても誇る必要があるのなら、私は自分の弱さを誇ります。」(Ⅱコリント 11:29, 30) 人間関係の中に痛みがあるのなら、それは弱さを誇るためにあるのです。目の前の出来事に傷つき、悲しんでいるのなら、何かを考えるための大切な時間であることを理解しましょう。問題が起こった時、何度も繰り返されてもう耐えられなくなった時、「もうこんな目に合うのは嫌だ!」と向き合わない、関わらない、或いは辞める、離れる、そうやって解決しても同じ問題は何度も繰り返されるのです。何度も繰り返されたのはそうなる道を選んだ自分のせいではなかったでしょうか。自己義の罪があるのを認め、向き合おう。どうせ向き合っても、どうせ争うなら解決できた方がいい、お互いによくなった方がいいのです。クリスチャンは預かった物を自分の力でよくしなければなりません。主人から各々財産を預けられたしもべの例えの通りです。「だれでも持っている者は、与えられて豊かになり、持たない者は、持っているものまでも取り上げられるのです。」(マタイ 25:14～29)

## ■ 知恵を持って

うまくいかない時、知恵を持って方法を考えているでしょうか。情報が多くなり、自らで考える必要が少なくなりました。戦国時代の才ある武将達は、戦に負けたら死ぬのですから、相手の出方を真剣に考えて攻略していったのです。私達クリスチャンのすることがうまくいかない時、神様の前に出て考える時間が足りないのです。今痛みがあって苦しんでいるなら、先人達が苦しんだ姿を思い起こして下さい。どれだけの痛みの中で信仰を貫いたでしょう。自分がキーマンであることを忘れてはいけません。悪い影響を与え、問題を起こす言葉のひとつひとつも神様は全て見ておられます。

## ■ あなたへのギフト

愛して下さっている神様が、痛みの中に置かれるなら、それは痛みの中でも神様から離れないためです。問題にぶつかって神様を信じる心がわからなくなり、何度も離れそうになります。神様は私達を悟ることで精神論を学ぶことでもない、幸せになることは簡単なことです。私達を作られた神様の下に帰ることです。「私達をキリストの愛から引き離すのはだれですか。患難ですか、苦しみですか、迫害ですか、飢えですか、裸ですか、危険ですか、剣ですか。…死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私達を引き離すことはできません。」(ローマ 8:35～39) 間違った決断をしそうになった時にはイエス様ならどうするかを考えましょう。問題が起きたら神様の愛を持って問題に向き合って、戻ろうとすることが大切です。相手の問題に対して、自分が返す態度はどうして悪いのか、自分の中にある間違った価値観のせい、そう理解できた時に霊の回復があります。その時初めて悪くなっていた関係が良くなっていくのです。「あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。私はすでに世に勝ったのです。」親が全て整えて、困難を取り去ってやって、子どもが幸せになることはありません。困難な状況にぶつかって苦しんでも、必ず解決する方法を与える神様は言われるのであって、いつも幸せである環境を与えるわけではないのです。試練を耐え忍べと神様は言われます。方法を変えて試練を克服できるようになれば今までずっと同じ所で苦しんでいた問題はなくなるのです。

## ■ 外的な要因を取り去るのではない

食物アレルギーの問題について新しい調査結果が出ました。これまで過剰摂取が原因ではないかと言われていましたが、実は母親の心労などから、十分な栄養の母乳が出ず、子どもの肌が荒れ、その荒れた部分から食物が入り、アレルギーが発症するとの結果でした。では、どうすれば防げるのか、肌の荒れた部分から食物が入らないようにする、ではないのです。母親が幸せになって安心し、十分な栄養が母乳から与えられる、これが解決です。私達の心で起こる問題もこれに似ています。いつも同じことでカチンとくる、影響を受ける、心のその部分が荒れているのです。その部分を指摘される時、体がバイ菌をブロックするように相手を敵とみなして攻撃するので、人のせいや環境のせい、外に原因を見つけて、その原因を取り除こうとするのでは解決できないのです。

## ■ ② 素直に見えないものを見る

うまくいかないこと、誰でも自分のせいにはしたくありません。自分以外のことのせいにして自分を見ないようにしていませんか。問題が起こるともう関わらないのでは解決できない、自分のためにならないのです。過去を整理してみてください。通った道をひとつずつ素直に振り返って、二度と繰り返さない決断をしましょう。

## ■ ③ 赦す、方法を変える

マンデラ大統領はアパルトヘイトの中で差別に遭い、32年間収監されました。わが子が殺された時でさえ、3日喪に服した後、元に戻り、正しい行動を取り続けました。どんなことがあっても同じことを繰り返さないことを宣言し、正義で裁くのではなく、仕返しをするのではなく、赦すことを選んだのです。しっかりと自分の行動を省みて、そして赦すこと。あなたが赦されたようにあなたも赦さない、神様はそう言われています。それが幸せになる方法なのです。もう自分を守るプライドはいりません。もう自分を責める必要はありません。神様は私達の苦しみも悲しみも全て知っておられます。必ず解決して下さい。素直に信じて全てをゆだねましょう。

(要約者:藤原 友規子)

(3月6日)